

平成27年度 社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞のICD10別患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）](#)
7. [その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	183	134	235	349	343	443	928	1229	1226	353

平成27年度の退院患者数（集計対象患者数）は5,423人であり、特に60歳以上の患者さんが多く、全体の68%となっております。また、70歳以上の患者さんは全体の51%を占めており、2人に1人は70歳以上の患者さんです。当院の所在する二次医療圏では回復期病床数が少ないこともあり、院内のみならず院外からも急性期治療後の場として地域包括ケア病棟を利用していただき、在宅に復帰するための支援を行っております。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■ 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
040080X099X0XX	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 (15歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし	89	26.87	14.34	13.48	76.65	
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	83	30.48	21.69	14.46	86.64	
110310XX99XXXX	腎臓または尿路の感染症 手術なし	32	23.25	12.60	3.13	77.63	

当科は総合内科、血液内科、糖尿病センター、神経内科の4科から構成しています。市中肺炎、誤嚥性肺炎、尿路感染症の患者数が多く平均年齢も76歳以上となっています。また糖尿病治療は日本糖尿病学会指導医が在籍し、主に地域包括ケア病棟にて入院治療を行っているため集計対象外となっております。

■ 消化器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	38	30.16	21.69	13.16	85.61	
040080X099X0XX	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 (15歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし	32	32.09	14.34	3.13	81.72	
060340XX03X00X	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔 膿瘍手術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	23	19.43	10.93	0.00	76.91	

当科は誤嚥性肺炎、市中肺炎の呼吸器疾患について呼吸器内科医師と協力して診療しており、胆管結石、胆管炎、胃瘻等の治療は患者さんの負担が少ないよう内視鏡下で行っています。集計対象外ですが、大腸ポリープの治療も数多く行っています。

■ 循環器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均	平均	転院率	平均年齢	患
--------	-------	-----	----	----	-----	------	---

			在院日数 (自院)	在院日数 (全国)			者 用 バ ス
050050XX99100X	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1あり 手術・処置等 2なし 副傷病なし	139	2.10	3.07	0.00	68.57	
050050XX0200XX	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1なし、1,2あり 手術・処置等 2なし	45	2.89	4.87	0.00	69.49	
050210XX97000X	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等 1なし、1,3あり 手術・処置等 2なし 副傷病なし	30	10.53	11.76	3.33	80.87	

日本人の死因第2位は循環器疾患であり、中でも当科は生活習慣病から進展することの多い狭心症の患者数が多いです。その治療は心臓カテーテルにて行えるため平均在院日数は全国より2日程度短くなっています。また徐脈性不整脈ではペースメーカー移植術を行い、ペースメーカー管理も行っています。

■ 小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 バ ス
040080X1XXX0XX	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 (15歳未満) 手術・処置等 2なし	20	5.30	5.72	0.00	1.75	
140010X199X00X	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等 2なし 副傷病なし	19	6.16	6.17	15.79	0.00	
150010XXXXX0XX	ウイルス性腸炎 処置 2なし	-	3.14	5.50	0.00	3.00	

当科は肺炎や腸炎の患者数が上位に占めています。また出生後の低体重に関連する障害である低出生体重児、早産児、新生児呼吸障害などは産科と協力して診療しています。なお患者数10未満は「- (ハイフン)」を入力しています。

■ 外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 バ ス
060150XX03XX0X	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等 副傷病なし	19	6.32	5.56	0.00	34.37	
050180XX97XX0X	静脈・リンパ管疾患 その他の手術あり 副傷病なし	15	3.47	3.46	0.00	69.00	
060150XX02XX0X	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの等 副傷病なし	10	10.90	9.48	0.00	51.20	

当科は、虫垂炎、下肢静脈瘤の患者数が多く、平均在院日数は全国平均と比較して同じです。鼠径ヘルニアは集計外傷外ですが患者数が最も多くなっています。近年は患者さんに負担をかけないよう腹腔鏡下の手術にも力を入れ、4位以下と続いています。消化器疾患(胃、大腸、肝臓、胆のう等)や血管(乳腺、甲状腺)など、幅広い疾患に対応しております。

■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 バ ス
160800XX01XXXX	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	146	31.12	28.70	43.15	83.18	
160620XX01XXXX	肘、膝の外傷 (スポーツ障害等を含む。) 腱縫合術等	135	10.54	11.98	0.00	44.21	
070230XX01XXXX	膝関節症 (変形性を含む。) 人工関節再置換術等	84	46.89	27.21	2.38	77.33	

当科は一般整形と関節外科（主に膝・股関節）に分けて診療を行っています。大腿骨骨折や変形性膝関節症の平均年齢は75歳以上の患者さんが多く、膝の外傷の平均年齢は44歳であり、関節外科は県外からの患者さんも多く占めています。大腿骨骨折は地域の病院と連携して一貫した診療体制であるため転院割合が高い傾向となっています。

■ 形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
180060XX97XXXX	その他の新生物 手術あり	-	5.20	6.84	0.00	54.60	
161000X199X0XX	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷（Burn Index10未満） 手術なし 手術・処置等2なし	-	15.00	12.66	0.00	58.00	
100100XX97X1XX	糖尿病足病変 手術あり 手術・処置等2あり	-	40.25	50.94	25.00	61.50	

当科は皮膚腫瘍、熱傷、糖尿病皮膚病変疾患等の患者さんの治療を行い、平均在院日数は全国平均と比較して短い傾向にあります。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
010060X099030X	脳梗塞（JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病なし	92	23.98	18.08	14.13	71.95	
160100XX97X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	42	16.50	10.02	2.38	73.71	
160100XX99X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	31	21.32	7.52	12.90	65.94	

当科において最も多い疾患は、脳梗塞、続いて外傷性頭蓋内損傷のとなっており緊急性の高い疾患が多くなっています。超急性期脳卒中に対する血栓溶解療法（t-P A治療）の体制も整えています。入院後早期にリハビリ介入することで日常生活自立を向上させ、入院前の状態に近づけることを目標にしています。平均在院日数が長い理由は、急性期治療後もリハビリの継続を希望される方にも対応しているためです。

■ 呼吸器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
040200XX01X00X	気胸 肺切除術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	10.29	9.68	0.00	47.86	
040040XX97X0XX	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2なし	-	15.33	13.03	0.00	70.33	
040190XX99XXXX	胸水、胸膜の疾患（その他） 手術なし	-	13.33	17.00	0.00	77.00	

日本人の死因第1位はがんであり、その中で肺癌がトップであります。当科は気胸や肺癌の治療を胸腔鏡下手術で行っているため、患者さんの負担は少なくなっています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
120170XX99X0XX	早産、切迫早産 手術なし 手術・処置等2なし	98	24.01	20.87	3.06	30.40	
140010X199X00X	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重2500g以上） 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	53	3.49	6.17	0.00	0.00	
120260XX01XXXX	分娩の異常 子宮破裂手術等	43	9.37	9.63	0.00	32.65	

当科は分娩に関連する産科疾患が上位を占めています。集計対象外ですが、自然分娩は300件以上となっており、坂出市内はもとより高松市、宇多津町、丸亀市などからも受診されています。

■ 眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
020250XX97XXXX	結膜の障害 手術あり	11	1.64	3.20	0.00	71.27	
020320XX97XXXX	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり	10	1.90	3.43	0.00	71.50	
020200XX99X4XX	黄斑、後極変性 手術なし 手術・処置等 2あり	-	2.00	2.53	0.00	88.25	

当科は集計対象外に加齢性白内障患者数が490件と最も多く、当院の全診療科の中で最も実績が多いです。また地域のクリニックに当院の手術室を利用いただき白内障手術をしています。さらに結膜の障害である翼状片、眼瞼疾患、黄斑変性の患者さんの治療も行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
030230XXXXXXXX	扁桃、アデノイドの慢性疾患	20	7.40	8.20	0.00	6.55	
030400XX99XXXX	前庭機能障害 手術なし	18	2.67	5.31	0.00	63.00	
030240XX99XXXX	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	13	4.92	5.53	0.00	31.92	

当科は小児の患者数が多い扁桃肥大・アデノイド増殖症、めまいに代表される前庭機能障害、扁桃炎の患者数が多く、平均在院日数は全国平均と比較して短い傾向にあります。また穿孔性中耳炎を専門としコラーゲンによる鼓膜再生法により、外来治療で完結できるような患者の負担を1番に考えています。

■ 泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
11012XXX040X0X	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）手術・処置等 1なし 副傷病なし	55	2.16	2.89	0.00	56.85	
110070XX0200XX	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 1なし 手術・処置等 2なし	18	8.00	7.59	0.00	66.39	
110280XX99000X	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1なし 手術・処置等 2なし 副傷病なし	10	13.00	13.64	0.00	72.40	

当科は尿管結石の患者数が最も多くなっています。慢性腎不全の治療は院内に透析センターがあり、入院・外来にて透析治療を行っています。集計対象外ですが、前立腺がんの生検検査も数多く行っています。

■ 呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
040080X099X0XX	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎（15歳以上） 手術なし 手術・処置等 2なし	75	24.81	14.34	5.33	79.97	
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2なし 副傷病なし	13	52.23	21.69	23.08	84.08	
040190XX99XXXX	胸水、胸膜の疾患（その他） 手術なし	-	21.89	17.00	0.00	84.00	

当科は肺炎疾患が圧倒的に多く、長寿・高齢化に伴った影響があり、平均年齢は約80歳で平均在院日数も長い傾向となっておりますが、急性期治療後、地域包括ケア病棟に転棟しリハビリ治療等を行いながら退院調整を希望される患者さんに対応しています。また集計対象外ですが、睡眠時無呼吸症候群の検査も数多く行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数 [ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	11	0	5	5	0	8	1	7
大腸癌	6	4	5	9	3	14	1	7
乳癌	4	7	3	0	0	3	1	7
肺癌	5	2	3	4	0	6	1	7
肝癌	1	0	2	3	0	1	1	7

※ 1：UICC TNM分類，2：癌取扱い規約

患者数としては、大腸がんが最も多くなっており、次いで胃がん、肺がんとなっております。患者さんに応じて腹腔鏡手術をはじめとする低侵襲治療から抗がん剤治療、放射線治療まで幅広く医療が提供できる体制を整備しています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均在院日数	平均年齢
重症度 0	29	11.90	38.86
重症度 1	60	30.60	77.12
重症度 2	74	29.73	80.99
重症度 3	44	48.14	86.59
重症度 4	7	48.86	71.43
重症度 5	20	23.35	86.70
不明	-	-	-

日本人の死因第3位は肺炎であり、高齢化に伴い多くなる疾患であります。当院でも重症度が低い場合平均年齢は38.9歳ですが、重症度が高くなるほど平均年齢が上がり平均在院日数も長くなる傾向となっております。

高齢で合併症を併せ持つ肺炎は重症化するケースもあり、適切な抗生剤の使用や酸素療法を行っています。また筋力・体力低下を防ぐために早期よりリハビリを開始しています。

脳梗塞のICD10別患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	-	20	7.85	72.30	0.00
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	-	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	-	173	33.83	74.58	23.70
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	-	-	4.33	65.83	0.00
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	-	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	-	-	-	-	-
I679	脳血管疾患，詳細不明	-	-	-	-	-

脳梗塞の患者さんは主に発症日から3日以内に診断を行い、早期治療と早期にリハビリを開始することにより後遺症を最小限にすべく日常生活の自立向上に努めています。転院については他職種が関わり、地域の病院や施設と連携することで地域で患者さんをサポートする体制を整えています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 消化器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル未満）	114	0.06	1.11	0.00	62.14	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	20	4.85	22.15	5.00	81.00	
K654	内視鏡的消化管止血術	12	1.25	17.67	8.33	56.67	

内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術が最も件数が多くなっています。大腸内視鏡検査にて必要と判断した場合はポリープ切除を行います。次いで、胆管結石、胆管炎、閉塞性黄疸などに対して内視鏡的胆道ステント留置術、吐血に対して内視鏡的消化管止血術を行っています。

■ 循環器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	37	0.19	2.86	0.00	69.51	
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）	28	1.86	9.46	7.14	80.32	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	17	0.00	13.59	0.00	68.71	

虚血性心疾患には狭心症と心筋梗塞があります。どちらも詰まっているもしくは詰まりかけた冠動脈を広げることが必要です。心臓カテーテル検査を実施し、狭い血管の場所を確認し風船で血管を広げた後、ステントという薄い金属を留置します。予約入院の場合は3日程度で退院できます。

また洞不全症候群、完全房室ブロックに対してペースメーカー移植術を行い、術後ペースメーカー管理をしています。

■ 外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6335	ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	24	0.88	6.04	0.00	68.75	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	17	0.64	4.59	0.00	32.94	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	16	1.88	5.38	0.00	57.56	

鼠径ヘルニア手術（腹腔鏡下、開腹）虫垂炎（腹腔鏡下、開腹）、胆嚢摘出術（腹腔鏡下）が主な手術です。患者さんの状態により腹腔鏡下、開腹手術の選択をしています。

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（肩、股、膝）	152	2.20	42.13	5.92	74.40	
K0483	骨内異物（挿入物を含む。）除去術（下腿）	124	0.94	6.62	2.42	53.47	
K0461	骨折観血的手術（大腿）	121	2.37	25.95	40.50	79.93	

変形性関節症、リウマチ、骨頭壊死に対する人工関節置換術、大腿骨骨折に対する骨接合手術、原疾患手術施行後の抜釘手術が主な手術です。術後地域包括ケア病棟での日常生活自立の回復目的の手厚いリハビリを行っているため平均術後日数は長くなっています。大腿骨骨折については地域の病院や施設を連携しているため、転院後治療を継続する方が多いです。

■ 形成外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0842	四肢切断術（上腕、前腕、手、大腿、下腿、足）	-	8.75	89.00	50.00	74.75	
K0301	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹）	-	0.67	4.00	0.00	58.00	

K0131	分層植皮術（25平方センチメートル未満）	-	10.67	14.67	0.00	69.00	
-------	----------------------	---	-------	-------	------	-------	--

整形外科と共同しての四肢切断術、軟部腫瘍摘出術、難治性皮膚潰瘍等、原疾患治療後の皮膚欠損に対する植皮術を行っています。

■脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	33	2.48	18.76	6.06	76.82	
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）（脳内のもの）	11	0.09	39.73	54.55	61.91	
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	-	0.88	75.00	62.50	69.38	

慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術、頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）、脳動脈瘤頸部クリッピング術が主な手術です。緊急性の高い手術が多く、24時間対応しています。機能障害を有する症例では術後の療養期間を要することが多く、周術期からリハビリを実施し中長期的な病状回復に努めています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■呼吸器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超える）	-	1.14	13.29	0.00	70.29	
K5131	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの））	-	3.71	8.71	0.00	51.29	
K5132	胸腔鏡下肺切除術（その他のもの）	-	1.00	8.00	0.00	54.00	

肺癌に対して胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術を行っています。また若年層に突発的に生じることが多い自然気胸の根治術として、原因となるのう胞と呼ばれる袋を胸腔鏡下にて切除する手術を行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8982	帝王切開術（選択帝王切開）	61	4.31	6.97	0.00	31.85	
K9091	流産手術（妊娠11週までの場合）	27	0.78	0.04	0.00	34.26	
K867	子宮頸部（腔部）切除術	26	1.15	2.15	0.00	39.73	

市内で唯一の分娩取扱医療機関のため帝王切開術、稽留流産手術が主な手術となっています。また子宮頸部上皮内腫瘍に対する子宮頸部切除術をしており、短期間の入院で治療ができます。

■眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821□	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他のもの）	490	0.01	0.32	0.20	75.12	
K224	翼状片手術（弁の移植を要するもの）	11	0.00	0.64	0.00	71.27	
K2172	眼瞼内反症手術（皮膚切開法）	10	0.10	0.80	0.00	71.50	

白内障に対して水晶体再建術の件数が圧倒的に多く、他医療機関の先生と共同して診察もしています。次いで、翼状片手術（弁の移植を要するもの）、眼瞼内反症手術（皮膚切開法）と続いています。

■耳鼻咽喉科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K3772	口蓋扁桃手術（摘出）	18	0.94	6.89	0.00	10.11	

K319	鼓室形成手術	-	1.13	8.00	0.00	40.38	
K318	鼓膜形成手術	-	1.00	1.40	0.00	33.60	

口蓋扁桃手術（摘出）、鼓室形成手術、鼓膜形成手術が主な手術となっています。小児入院も多く短期間の入院で退院することが可能となっています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	57	0.46	1.67	0.00	57.63	
K8036 イ	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	19	0.89	6.37	0.00	66.47	
K610- 3	内シャント設置術	14	3.43	11.07	0.00	61.00	

体外衝撃波腎・尿管結石破砕術、膀胱悪性腫瘍手術、維持透析を開始するための内シャント設置術が主な手術です。体外衝撃波腎・尿管結石破砕術は平均1泊2日の入院となっています。内シャント設置術後は、シャント狭窄、感染症等の合併症発生予防のため透析センター・循環器内科と連携して、当院の透析患者のみならず他の病院で透析されている方も含め、患者さんの経過を診療しています。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	0.00
		異なる	14	0.26
180010	敗血症	同一	-	0.17
		異なる	13	0.24
180035	その他の真菌感染症	同一	-	0.00
		異なる	-	0.02
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	0.07
		異なる	24	0.44

「同一性」とは、入院の契機である疾患と入院中に主として治療した疾患が同一か否かということです。

播種性血管内凝固症候群（DIC）は、様々な重症の基礎疾患により、過剰な血液凝固反応活性化が生じ全身の血管内に血栓が出来、臓器不全、出血傾向となる病態です。基礎疾患には、悪性腫瘍、敗血症、熱傷、外傷などの重症疾患があります。

敗血症は、体のある部分で感染症を起こしている場所から血液中に病原体が入り込み、重篤な全身症状を引き起こす病態です。原因として肺炎、尿路感染症、腹膜炎、褥瘡感染、悪性腫瘍などがあります。

手術・術後合併症は、手術処置後に合併した疾患で、当院は透析を行うために必要なシャントが血栓などで閉塞し、使用できなくなり、その治療（経皮的シャント拡張術、血栓除去術）目的で入院する患者さんが多いです。当院では泌尿器科と循環器内科が協力して治療をしています。

発生率は、播種性血管内凝固症候群は0.26%、敗血症は0.41%、その他真菌症は0.02%、手術・術後の合併症は0.51%でありどの疾患も発生することはほとんどない状態です。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

更新履歴